

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員総定数以上のスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定数以上に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			フロアについてはフラットにしている。階段に手すりを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			各役割に応じて複数機会を設けている。法人単位、事業所単位とも定期的にも計画的に実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等の意向を共有し今後はどう反映するか意識している上で、評価表を活用している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人内評価に加え社労士にもアドバイスをもらっています。第三者による評価はできていません。今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			感染症対策や権利擁護・虐待防止、発達保障の研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者から聞き取りや個人の記録に基づいて作っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したシートを利用し、定期的に更新している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ケース会議にて確認している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			成長や変化に配慮し、それに合わせた取り組みや働きかけを意識している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			季節や曜日ごとの集団により変化させている。長期休暇時は多くある時間ならではの活動計画にしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を主にしながら個々の状況に応じて個別活動も組み合わせながら計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			課題や要点の意思統一をしてチーム実践が円滑に出来るよう実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々記録を取り、モニタリング会議等で支援内容の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的な会議と日頃の打ち合わせなどから必要に応じて行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			年間方針にも組み込み行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者の参加を基本に、加えて児童指導員も参加する場合もある。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時やSNS、電話連絡など適時必要な連絡調整をしている。より密な連携に努力していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアの子どもを受け入れるための人員の確保、環境整備は出来ていない。要望は積極的に聞いていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要に応じて連絡を取るようになっているが、充分かどうか確認がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機会があれば積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		可能な限り参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や電話連絡で共通理解を図るようにしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者の悩みに寄り添い、共に考えている。トレーニングとまでは至っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		変更点を中心に契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談に職員間で共有し考えている。共に考える姿勢で取り組んでいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会等の活動は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付担当者を置き、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応している。今後も努力する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	その都度行事予定や必要なお知らせは配布している。法人の会報を不定期で発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		細心の注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々の状況に合わせて工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	法人全体では取り組んでいる。事業所としては行っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは作成していますが、保護者への周知が出来ていない。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	職員は意思統一等行っているが、子どもと合わせたことは出来ていない。	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修への参加をしている。特に人権擁護についての学習は内外とも意識して取り組んでいる。定期的な啓発もしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者に十分説明・了解を得たうえで支援計画にも合わせて記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書でなく、保護者から聞き取りを行い対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その都度、加えて定期的に振り返っている。常に職員全員が共有できるようにしている。